

2023年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 日精エー・エス・ビー機械株式会社

コード番号 6284 URL <https://www.nisseiasb.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 C00 (氏名) 宮坂 純一

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 山本 雄一 TEL 0267-23-1560

四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年9月期第1四半期の連結業績 (2022年10月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第1四半期	6,933	1.3	1,311	13.7	8	△99.5	47	△95.8
2022年9月期第1四半期	6,847	△13.2	1,153	△39.9	1,545	△10.0	1,125	△12.5

(注) 包括利益 2023年9月期第1四半期 △1,713百万円 (-%) 2022年9月期第1四半期 1,541百万円 (39.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第1四半期	3.18	-
2022年9月期第1四半期	75.08	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年9月期第1四半期	64,794	42,690	65.8
2022年9月期	68,956	45,903	66.5

(参考) 自己資本 2023年9月期第1四半期 42,654百万円 2022年9月期 45,865百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	-	0.00	-	100.00	100.00
2023年9月期	-	-	-	-	-
2023年9月期(予想)	-	0.00	-	100.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年9月期の連結業績予想 (2022年10月1日～2023年9月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,000	12.3	6,500	17.0	7,000	△21.6	5,000	△18.4	333.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記」「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年9月期1Q	15,348,720株	2022年9月期	15,348,720株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2023年9月期1Q	357,344株	2022年9月期	357,308株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年9月期1Q	14,991,406株	2022年9月期1Q	14,991,506株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本書に記載した業績予想数値等は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は、様々な要因により異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(四半期連結損益計算書)	7
(四半期連結包括利益計算書)	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報)	9
3. 補足情報	10
受注及び販売の実績	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2022年10月1日～2022年12月31日）の世界経済は、コロナ禍からの経済活動再開の動きが世界各地で本格化する一方、ロシア・ウクライナ情勢に起因する原材料・エネルギー価格の高騰、インフレリスクに対応した金利上昇とそれに伴う為替相場の急変など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

一方で、当社グループの属するストレッチブロー成形機業界におきましては、不安定な政治経済情勢に伴う設備投資意欲の減退懸念はあるものの、安全で衛生的なプラスチック容器の需要は底堅いものがあり、今後も堅調に推移すると思われまます。

こうした環境下、当社グループは「人と社会に豊かさを提供する」「高い技術、サービスで恒久的な存続を追求する」との経営理念に基づき、中長期的な成長発展方針を継続し、事業規模の拡大を見据えた各種戦略的施策の展開に注力しました。

技術面では、当社の得意領域である、高品質・高付加価値生産が特徴の1ステップ成形機（以下、1ステップ機）の優位性を高める「ゼロ・クーリングシステム」の更なる進化を図り、製品競争力の向上に努めております。また、大量生産機のシェア拡大や、環境問題を含む幅広い用途への利用を企図して、高品質・高付加価値な新型機群の開発を強化しております。

販売面では、主力の1ステップ機を中心に競争力強化による市場喚起を行っております。特に、世界各地の主要展示会への出展を再開することで、グローバルでの営業活動を強化し、需要発掘に努めております。なお、高品質な飲料系ボトルの大量生産を得意とする1.5ステップ式の大型機「PF36シリーズ」は継続して受注を獲得しており、顧客と市場の幅を着実に広げております。

生産面では、グローバル生産体制の最適化を図るため、増産対応とリスク分散を進めております。具体的には、インド工場での成形機等の生産能力増強と納期短縮を図るべく、工作機械等への設備投資を継続しております。また、日本国内におきましては、将来の事業拡大に備え、本社工場近隣に新たな工場用地を取得しており、より強固な生産体制の構築を検討しております。

環境対応技術では、「3R+Renewable」への取り組みを継続し、「材料使用量の削減」、「PETボトルリユースの提案」、「リサイクル材料の使用促進」、「バイオプラスチックのボトル成形」などのソリューションを提供することで、環境配慮型の技術提案を強化しております。なお、2022年10月にドイツで開催された世界最大のプラスチック・ゴム展示会（K2022）に出展した4台の新技术は、顧客から大きな関心を集めており、早期の受注獲得に向け、営業活動を強化しております。

販売成績につきましては、世界各地での経済活動再開に伴い、海外展示会への出展を加速させ、顧客との接点強化に努めたことにより、受注環境は堅調に推移しました。その結果、当期の受注高は8,316百万円（前年同期比117.3%）、受注残高は16,168百万円（前年同期末比128.9%）とそれぞれ増加しました。また、売上高につきましても、地域毎に濃淡はあるものの、比較的想定どおりに推移し、豊富な受注残高を消化した結果、6,933百万円（前年同期比101.3%）と増収となりました。

利益面につきましては、為替相場が前年同期に比べ円安に推移したことに加え、原材料高に対応した柔軟な価格政策を継続した結果、売上総利益は3,445百万円（同109.3%）、営業利益は1,311百万円（同113.7%）とそれぞれ増加しました。一方で、日銀の金融政策修正に伴う直近の為替相場の急変により、当第1四半期末の為替レートが前期末比で大幅な円高となり、営業外費用において為替差損が発生したため、経常利益は8百万円（同0.5%）と大幅な減益となりました。その結果、親会社株主に帰属する四半期純利益も47百万円（同4.2%）と減益となりました。

当第1四半期連結累計期間における損益の状況は次のとおりであります。

（単位：百万円）

	売上高	売上総利益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
当第1四半期	6,933	3,445	1,311	8	47
前第1四半期	6,847	3,152	1,153	1,545	1,125
前年同期比	101.3%	109.3%	113.7%	0.5%	4.2%

製品別売上高状況

(単位：百万円)

	ストレッチブロー成形機	金型	付属機器	部品その他	合計
当第1四半期	3,446	2,062	449	974	6,933
前第1四半期	3,442	2,102	456	845	6,847
前年同期比	100.1%	98.1%	98.6%	115.2%	101.3%

製品別の売上高状況につきましては、ストレッチブロー成形機が3,446百万円（前年同期比100.1%）、金型が2,062百万円（同98.1%）、付属機器が449百万円（同98.6%）とそれぞれ前年同期並みとなったものの、部品その他は974百万円（同115.2%）と好調を維持しており、アフターサービス強化の施策は着実に進展しております。

セグメントの業績は次のとおりであります。

セグメント（地域）別売上高状況

(単位：百万円)

	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	合計
当第1四半期	2,907	787	2,237	1,002	6,933
前第1四半期	2,055	1,119	2,585	1,087	6,847
前年同期比	141.4%	70.3%	86.5%	92.1%	101.3%

セグメント（地域）別利益又は損失（△）

(単位：百万円)

	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	合計
当第1四半期	342	△84	309	1,395	1,963
前第1四半期	197	95	236	1,418	1,947
前年同期比	172.8%	－%	130.9%	98.4%	100.8%

① 米州

米国経済には先行き不透明感が漂うものの、豊富な受注残高を着実に消化した結果、北米を中心に売上が増加し、地域全体の売上高は2,907百万円（前年同期比141.4%）と増収となりました。セグメント利益も増収効果等により342百万円（同172.8%）と増益となりました。

② 欧州

ロシア・ウクライナ情勢の影響が色濃く、経済環境には深刻な影響が見られるものの、受注環境は、昨年の展示会効果の恩恵もあり、比較的堅調に推移しております。一方、売上高は、前期の受注低迷が響き、787百万円（前年同期比70.3%）と減収となりました。また、セグメント損失は売上規模の減少及び展示会費用の負担等により84百万円（前年同期はセグメント利益95百万円）の赤字となりました。

③ 南・西アジア

インド国内市場は受注・売上ともに堅調に推移しております。その他地域も受注環境には回復が見られるものの、売上高は前期の受注低迷により回復が遅れております。その結果、地域全体の売上高は2,237百万円（前年同期比86.5%）と減収となりました。一方、セグメント利益はインドにおける販管費等の減少により309百万円（同130.9%）と増益となりました。

④ 東アジア

コロナ禍における不透明な景況感及び中国市場での経済活動制限の影響を受け、各国市場の引き合いが弱含んでおり、地域全体の売上高は1,002百万円（前年同期比92.1%）と減収となりました。セグメント利益も売上規模の減少等により1,395百万円（同98.4%）と減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

(単位：百万円)

	流動資産	固定資産	流動負債	固定負債	純資産
当第1四半期	45,373	19,421	11,448	10,655	42,690
前連結会計年度	48,296	20,659	11,854	11,198	45,903

当第1四半期連結会計期間末（以下、当期末）の流動資産は、前連結会計年度末（以下、前期末）と比べ2,922百万円減少し、45,373百万円となりました。また、固定資産は、前期末と比べ1,238百万円減少し、19,421百万円となりました。この結果、当期末の資産合計は、前期末と比べ4,161百万円減少し、64,794百万円となりました。

流動負債は、前期末と比べ406百万円減少し、11,448百万円となりました。また、固定負債は、前期末と比べ543百万円減少し、10,655百万円となりました。

純資産は、前期末と比べ3,212百万円減少し、42,690百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年9月期の連結業績予想につきましては、2022年11月9日公表の予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,188	17,798
受取手形及び売掛金	6,687	5,868
商品及び製品	2,471	2,338
仕掛品	9,135	8,641
原材料及び貯蔵品	9,389	9,466
その他	1,485	1,336
貸倒引当金	△60	△75
流動資産合計	48,296	45,373
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,665	5,259
機械装置及び運搬具(純額)	6,466	5,720
土地	1,980	1,980
その他(純額)	4,323	4,143
有形固定資産合計	18,436	17,104
無形固定資産	111	101
投資その他の資産		
投資有価証券	277	341
その他	1,959	1,988
貸倒引当金	△124	△113
投資その他の資産合計	2,112	2,215
固定資産合計	20,659	19,421
資産合計	68,956	64,794

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,685	2,129
短期借入金	1,805	1,637
未払法人税等	1,704	317
契約負債	4,038	5,075
賞与引当金	643	316
役員賞与引当金	53	12
その他	1,923	1,958
流動負債合計	11,854	11,448
固定負債		
長期借入金	9,105	8,732
役員退職慰労引当金	534	530
退職給付に係る負債	833	798
その他	725	594
固定負債合計	11,198	10,655
負債合計	23,053	22,104
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,860	3,860
資本剰余金	3,196	3,196
利益剰余金	38,098	36,647
自己株式	△301	△301
株主資本合計	44,854	43,403
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	52	105
為替換算調整勘定	979	△834
退職給付に係る調整累計額	△20	△20
その他の包括利益累計額合計	1,010	△749
非支配株主持分	37	36
純資産合計	45,903	42,690
負債純資産合計	68,956	64,794

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)
売上高	6,847	6,933
売上原価	3,695	3,488
売上総利益	3,152	3,445
販売費及び一般管理費	1,998	2,133
営業利益	1,153	1,311
営業外収益		
受取利息	34	57
受取配当金	3	4
為替差益	364	—
受取手数料	—	100
その他	6	23
営業外収益合計	408	186
営業外費用		
支払利息	11	8
為替差損	—	1,433
訴訟関連費用	4	41
その他	1	6
営業外費用合計	16	1,490
経常利益	1,545	8
税金等調整前四半期純利益	1,545	8
法人税、住民税及び事業税	137	46
法人税等調整額	282	△84
法人税等合計	419	△37
四半期純利益	1,125	46
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	0	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,125	47

(四半期連結包括利益計算書)
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	1,125	46
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6	52
為替換算調整勘定	421	△1,813
退職給付に係る調整額	1	0
その他の包括利益合計	416	△1,759
四半期包括利益	1,541	△1,713
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,540	△1,711
非支配株主に係る四半期包括利益	1	△1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間(自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	計		
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	2,055	1,119	2,585	1,087	6,847	—	6,847
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,055	1,119	2,585	1,087	6,847	—	6,847
セグメント間の内部 売上高又は振替高	34	—	1,957	3,824	5,817	△5,817	—
計	2,090	1,119	4,543	4,912	12,664	△5,817	6,847
セグメント利益	197	95	236	1,418	1,947	△794	1,153

(注) 1. セグメント利益の調整額△794百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△866百万円、セグメント間取引消去72百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間（自 2022年10月1日 至 2022年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	計		
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	2,907	787	2,237	1,002	6,933	—	6,933
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,907	787	2,237	1,002	6,933	—	6,933
セグメント間の内部 売上高又は振替高	19	3	2,270	3,796	6,090	△6,090	—
計	2,926	790	4,507	4,798	13,023	△6,090	6,933
セグメント利益又は 損失(△)	342	△84	309	1,395	1,963	△651	1,311

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△651百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△755百万円、セグメント間取引消去103百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

受注及び販売の実績

① 受注実績

製品別	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)		前年同期比	
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (%)	受注残高 (%)
ストレッチブロー成形機	3,666	7,261	4,571	9,293	124.7	128.0
金型	2,058	4,115	2,317	5,500	112.6	133.6
付属機器	477	993	426	1,153	89.4	116.1
部品その他	883	169	1,000	221	113.2	131.0
合計	7,087	12,540	8,316	16,168	117.3	128.9

セグメント別	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)		前年同期比	
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (%)	受注残高 (%)
米州	1,789	4,166	2,272	3,975	127.0	95.4
欧州	1,819	2,094	1,844	3,421	101.4	163.4
南・西アジア	2,511	3,620	2,955	4,677	117.7	129.2
東アジア	966	2,659	1,243	4,093	128.6	153.9
合計	7,087	12,540	8,316	16,168	117.3	128.9

(注) なお受注高の計算に際しては、前期以前に受注した案件のキャンセルは前期末受注残高より控除しております。

② 販売実績

製品別	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)		前年同期比(%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
ストレッチブロー成形機	3,442	50.3	3,446	49.7	100.1
金型	2,102	30.7	2,062	29.7	98.1
付属機器	456	6.7	449	6.5	98.6
部品その他	845	12.3	974	14.1	115.2
合計	6,847	100.0	6,933	100.0	101.3

セグメント別	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)		前年同期比(%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
米州	2,055	30.0	2,907	41.9	141.4
欧州	1,119	16.3	787	11.3	70.3
南・西アジア	2,585	37.8	2,237	32.3	86.5
東アジア	1,087	15.9	1,002	14.5	92.1
合計	6,847	100.0	6,933	100.0	101.3